

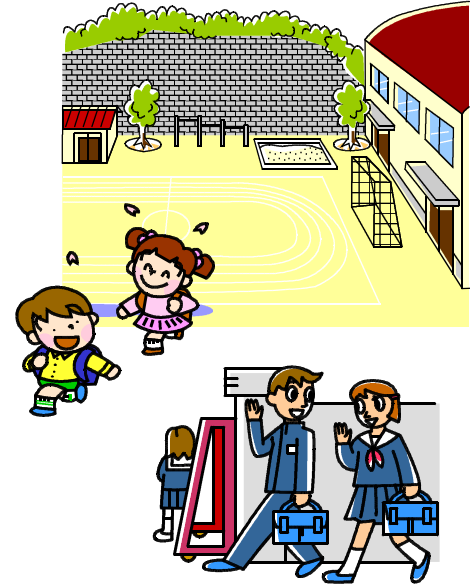


宇治田原町の教育

小中一貫教育説明会に多数のご来場ありがとうございました

宇治田原町教育委員会では、平成30年10月から11月にかけて合計7回の小中一貫教育説明会を開催させていただきました。各回共に多数の方にご来場いただき、誠にありがとうございました。

ご来場いただいた方々からの質疑事項、ご意見・ご要望事項をとりまとめましたのでお知らせいたします。



～ 教育制度について ～

【質疑事項】

- ☆ 現在の状況をどう評価・総括しそれを一貫教育でどう伸ばすのか、学力や教育力に焦点をあてた議論の経過はどのようなものか。
- ☆ 一体になることで学力の底上げ、向上が起り得るのか。
- ☆ 小中一貫教育で学力が向上するという根拠はあるのか。
- ☆ 小中連携と一貫の区別は、9年間でカリキュラムを組むことか。
- ☆ カリキュラムは、宇治田原独自か文部科学省が示しているものか。
- ☆ カリキュラムや環境など子どもたちにどのような変化があるか。
- ☆ 黄檗学園など一貫教育を行っている成果や問題点はどうか。
- ☆ 現場教員の状況①意見交換の有無 ②クラスの人数による仕事量の違いなどは、どのようなものか。
- ☆ 9年間を子どもの発達段階に応じてどのようにグループ分けしようと考えているのか。
- ☆ 中学校の先生が小学校の英語を教えることができないのか。
- ☆ 小学校の先生が中学校に教えに行くことはできないのか。
- ☆ どのような課題があったから一貫にした方が良いとするのか。
- ☆ 1学級では「社会性やコミュニケーション能力が身につけにくい」という根拠は何か。
- ☆ 小学校の途中で一体型が開校する児童について、学年ごとにどういった教育課程になるのか年度ごとに事前に示してもらえるのか。
- ☆ 一体型(隣接型)の小学校と中学校になるのか、義務教育学校になるのかどちらの考えか。

【意見・要望事項】

- ☆ 学力の問題意識があつての一貫構想であれば教育の中身の部分をもっと議論してほしい。教育が特徴的な魅力あるもので地域づくりもできる。教育がしっかりしている学校づくりを目指す検討をしてほしい。
- ☆ 町に高校がなく、受験時に十分戦えるか危惧する。高校の進学先の公表も含め、現状分析を願いたい。
- ☆ 自然に囲まれた地域でのびのび育てたい、独自性を持って望んでほしい。どこでもあるような問題は一貫になったから解決するものではない。

- ☆ 一体型になれば、小中学校の先生の連携ができ、時間をかけて子どもを育てることができる。
- ☆ 子どもは1クラスより2クラスがいいと言っている。1学級で6年間過ごすことは逃げ場がない。
- ☆ 現在、既にクラスが少ない影響が出ている。
- ☆ 1学年1学級は教師の負担が大変。一体型にして授業の充実や子ども、先生の負担を減らす学校づくりを。
- ☆ 複数の教員が複数の学級をみていかないと教員の負担が増える。
- ☆ 高校になると周りも落ち着くので、できるだけ中1ギャップを少なくすることが義務教育課程の中で必要。
- ☆ 今のうちから2小学校の交流をもっと増やしてほしい。
- ☆ 現在行われているのは小中連携教育の域であり、小中一貫教育ではない。
- ☆ 施設一体となれば、体育の授業や休み時間の工夫をすることも、子供が混乱するだけ。
- ☆ 子どもと教員が意思疎通するには小規模校が一番。
- ☆ 発達障害の子どもたちを少人数で見てほしい。
- ☆ 両小学校が持っている長年の良さを1校になって引き継げるのか。
- ☆ 小中学校が分かれている方が小学校から中学校に入るときに身が引き締まる。
- ☆ 一貫教育は3小中学校がそれほど離れていないので今のままで工夫すれば十分やっつけていける。
- ☆ 中1ギャップがなくなると15歳を機にバラバラになった時に新たな不登校の問題を生みかねない。

～ 学校施設について ～

【質疑事項】

- ☆ 中学校付近は土砂災害区域であり、浸水想定区域であるそのような場所になぜわざわざ小学校を建てるのか。
- ☆ 中学生と同じグラウンドで小学生は安心して遊べるのか。
- ☆ 小学生と同じグラウンドで中学生はクラブ活動が安全にできるのか。
- ☆ 田原小、宇治田原小の施設が無駄になるがどう活用するのか。

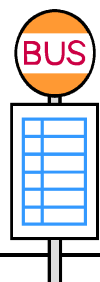
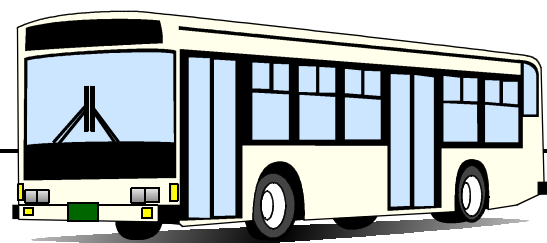
【意見・要望事項】

- ☆ 特別支援教育が今後さらに重要になるので、対処できるスペースを確保するためにも地域に学校は残すべき。
- ☆ 施設については大人が考えること。住民代表の議員の方としっかり摺合せをしてほしい。
- ☆ 両小学校共に立派な施設なので跡地を利用したとしてももったいない。

～ 通学方法について ～

【質疑事項】

- ☆ スクールバスが出るのか。(対象者は)
- ☆ スクールバスに乗り遅れた場合、どうするのか。
- ☆ 路線バスの可能性はあるのか。
- ☆ スクールバスの場合、費用は町から出るのか。
- ☆ 4キロ(歩く距離)は、中学校から具体的にどこまでか。
- ☆ 中学生は自転車、小学生は徒歩か。



【意見・要望事項】

- ☆ スクールバス対象外でも夏や冬の暗い時期などは要検討。
- ☆ バスを使うのであればスクールバスで。路線バスは一般利用者もいるので乗り切れないし、本数がない。
- ☆ 本町の住居は放射状に広がっており、1台のバスの巡回では済まないので予算の負担増につながる。
- ☆ 緑苑坂、銘城台、郷之口が徒歩通学になれば、大多数が不便になる。
- ☆ 徒歩の方が豊かな体験が積み、感性が育まれる。
- ☆ 徒歩を希望する場合の選択肢も必要。
- ☆ 距離だけでなく、徒歩通学の効果、集団下校時の条件（学年による下校時間の違い、学童との関係）等を総合的に判断して決めてほしい。
- ☆ 徒歩区間の見守りが必要。
- ☆ バス通学だと見守り隊など地域の方との関わりが持てなくなり、寂しい。また、地域に誇りが持てない。
- ☆ 小中学生が同じルートで自転車と徒歩の場合やグリーンゾーンの確保など安全面の配慮。
- ☆ 通学について十分検討してもらうにはスケジュールがきつい。もう少し時間をかけて検討してほしい。

～ 進め方(これまでの経過等)について ～

【質疑事項】

- ☆ 最近になって説明会があり、何処までが決定で、意見を聴いて動く範囲、動かない範囲はどこか。
- ☆ 説明会を聞き、考え、やめてほしいと言えはやめてもらえるのか。
- ☆ 中身が決まっていないうちで、ある程度まとめて保護者に聞いてするかしないかを決めるべきではないか。
- ☆ 以前に取ったアンケートをどう集約して、今回の決定（案）に反映させたのか。住民の意見はどこに入っているのか。
- ☆ 分離型で工夫しながら、人口の推移を見て、一体型に移行していく方法ではだめなのか。
- ☆ なぜ、何年もの間、住民に途中経過を説明しなかったのか。

【意見・要望事項】

- ☆ 小中一貫教育の先にあるものとして描いているビジョンについて知りたい。
- ☆ 教育委員会に任せている方も多いのでより重大な責任を感じて取り組んでほしい。
- ☆ 賛成、反対それぞれの意見を吸い上げることなく、決定した事だけを伝えるというやり方は反対。
- ☆ 将来人口を増やすという町の目標と子供の数が減るから小中一貫を統合型で行なうという考えに整合性がない。
- ☆ 町の財政、町づくりの視点を含めて、総合教育会議でしっかりと考えて責任と重大性を感じて自信を持って進めてほしい。
- ☆ 計画は中学校が落ち着いていることを前提としている。子どもの視点に立っていない。
- ☆ この人数なら急いで1小学校にする必要はない。
- ☆ 小中一貫教育と学校統廃合を一体化したやり方には賛同できない。
- ☆ 場合によっては住民投票も視野に入れて議論を深めてほしい。

～ 広報・発信の方法について ～

【質疑事項】

- ☆ 情報が保護者に入っていないので、噂が飛び交い混乱している。広報手段について検討・工夫すべきではないか。
- ☆ この案の中に子どもたちの意見は入っているのか。

【意見・要望事項】

- ☆ 説明会の議事や内容を発信・公開し、新しい情報は資料として子どもに持ち帰らせるなど配布願いたい。
- ☆ 今後もこうした説明会をもって、しっかりと説明していくべき。
- ☆ 学校や保育所で人が多く集まる時に小中一貫教育の良さについて話してほしい。
- ☆ 近隣の施設一体型一貫校の成果と課題を紹介し、ソフト、ハード両面を本町に落とし込み、方向性を説明してほしい。
- ☆ 広報は学期に1回、数カ月に1回発行し、学校や教育委員会の取組を知らせてほしい。
- ☆ もう少し細かい項目ごとに説明をしてほしい。
- ☆ 説明会で出た意見を無駄にせず、活かしてほしい。
- ☆ 説明会のターゲットを変え、妊婦さんや未就学児の家庭にした方が現実味が出る。
- ☆ すべて準備してこういう計画の学校になると示してから、説明会を行うべき。
- ☆ これまでの一貫教育の成果、一体型にしたときの教育像、環境、よくなる点を示してほしい。

～ その他の質疑事項、ご意見・ご要望等 ～

【質疑事項】

- ☆ 通学経費、校舎建設経費、国の補助金等財政的面についてどのような試算をしているのか。
- ☆ 新施設に行く場合、保護者のための駐車場は確保してもらえるのか。

【意見・要望事項】

- ☆ 小中学生は一緒になるのであれば、上級生からいじめがないよう教育をしてほしい。また、けじめ（チャイムや教師の指示）をつけてほしい。
- ☆ 子どもたちが環境に慣れるようそれまでに校舎見学、通学のしかた（スクールバスの乗り方）などを指導してほしい。また、それまでに交流時間を取るなど検討してほしい。
- ☆ ここ数年一貫教育が浸透してきたのか、子どもたちは落ち着いている。先生方も頑張っている。
- ☆ 綾部市の志賀小のような取組をやらない限り、人口が増えることは有り得ない。
- ☆ 説明会に小中学校の先生にも参加してもらい、実践報告してほしい。

大変多くのご意見をいただき、ありがとうございました。
なお、各回ごとの詳細につきましては、今後、町教育委員会事務局のホームページに掲載していく予定ですので、あわせてご覧ください。

